

## 地域イベントにおけるボランティアの役割に関する考察

発表者： 徳田裕子（株式会社ビー・エフ・シー）

キーワード： 地域イベント、ボランティア、地元住民、共感、街づくり

### <目的>

地域イベントの成功要因に市民ボランティアが存在すると仮定し、地域に根付いたイベントを運営するための持続可能な参加形態としてのボランティアの可能性と役割、その価値を明らかにする。

### <方法>

主に参与観察を要した。平成20年度に札幌市で行われた大小20以上のイベントにボランティアとした。参加したイベントは主に文化イベントだが、例外として一部スポーツイベントが含まれる。実行委員として企画段階から参加したイベントから、当日スタッフのみを引き受けたイベントまで多様であった。

### <結果>

長期的に参加するイベントほど、その目的が共有化でき、高い意識で参加することができた。また、ボランティアに当日の運営を頼るイベントは、マニュアルがしっかりしており、ボランティアへの扱いが丁寧で、感じがよかった。どの会場も、ともにイベントを成功に導くという気持ちと、一緒に作業をする人との仲間意識が芽生え、交流が広がる場であった。

### <考察>

ボランティアで得られるものが、金銭的ではなく精神的なことである。UFJ総合研究所はボランティア活動の意義・必要性として、①行政や運営する側の目や手の届かないところを独自のネットワークで網羅し柔軟性を持って活動を展開できる点と、②ボランティア活動が個人の新しい自己実現の場としても強く期待されているという2点を挙げている。つまりは、ボランティアの自主的かつ主体的な動きが求められると同時に、その活動が地域に住む人びとに新たな刺激を与えて、交流の活発化が生まれることが期待されている。そのことにより、地域イベントの目的に多くみられる「地域活性化」や「情報発信」が達成されやすくなる。

### <結論>

達成条件としては、ボランティアが動きやすい環境下にあることが必須である。事前研修やマニュアルなど、ボランティア教育はイベントの品質管理という点でも必要だが、各ボランティアが不安なく動けることにもつながる。また、ボランティア参加目的と、作業内容が近いことも重要になる。ボランティアで参加することにより、イベントと他人事ではない結びつきができる。やりがいを感じ、満足感を得るボランティアが、継続参加となり、イベントを地域に根付かせ、発展させることになる。

### <参考資料>

清成忠男（1987）「地域経済振興の課題と展開」『地域開発』1987年11月

新藤浩伸（2003）「住民ボランティアによる地域音楽祭の創造」『東京大学大学院教育学研究科紀

要』第43巻

村瀬章（1997）「文化イベントが地域社会に期待される役割」『地域開発』1997年9月

山崎正和（2006）『社交する人間 ホモ・ソシアビリス』中央公論社

J. リップナック、J. スタンプス（1984）『ネットワーク—ヨコ型情報社会への潮流』社会開発統計研究所

「地域音楽と音楽祭」（2003）『ARTS POLICY & MANAGEMENT』UFJ総合研究所 芸術・文化政策センター